

律宗 壬生寺 特別展企画提案書



壬生寺

— における —

地蔵信仰と祈りの造形 東アジア仏教美術特別展

— 慈悲・救済・祈りの文化 —

延命地蔵菩薩への信仰と京都の祈りの文化を軸に、
東アジア仏教美術の魅力をたどる特別展企画。

東京古禅美術館・銀座万佛宇宙国際芸術館

1. 企画の概要

当館が長年にわたり保存・調査してきた東アジアの仏教造像の中から、文化的・学術的価値を有する代表作を選定し、壬生寺様において特別展として公開することを提案いたします。

本展では、唐・宋・元・明・清および日本各時代の仏教造像を通じ、東アジアにおける祈りの造形、技法の変遷、文化交流の歩みを紹介いたします。とりわけ、壬生寺様の御本尊・延命地蔵菩薩、ならびに境内塔頭・中院に伝わる十一面観音菩薩と歯薬師如来への信仰を尊重し、地蔵菩薩像と薬師如来像を本展の重要な柱として位置づけます。壬生寺様の宗教的尊厳と参拝環境を最優先とし、過度な演出や商業的表現を避け、静謐で品格ある展示を目指します。

2. 本企画で実現したいこと

- ・当館所蔵の仏教造像を、寺院という本来の精神文化にふさわしい環境で公開すること。
- ・中国を中心とする東アジア仏教美術と日本仏教文化のつながりを、作品そのものを通じて伝えること。
- ・国内外の参拝者に、仏教美術の造形美だけでなく、慈悲・智慧・平和・祈りの意味を感じていただくこと。
- ・壬生寺様に受け継がれる延命地蔵菩薩と歯薬師如来への信仰を手がかりに、寺院の祈りと出展作品とのつながりを参拝者に感じていただくこと。
- ・壬生寺様のご指導のもと、学術的・文化的に信頼される展覧会を実現すること。

3. 出展内容

出展候補は、当館所蔵品の中から選定する百八尊を基本とします。その中でも、壬生寺様の御本尊に呼応する地蔵菩薩像と、中院の歯薬師如来への信仰に呼応する薬師如来像を重点候補とします。最終的な出展点数、作品構成および展示順序は、壬生寺様のご意見を最優先として決定いたします。

- ・如来部：釈迦如来、阿弥陀如来、薬師如来、大日如来ほか
- ・菩薩部：観音菩薩、文殊菩薩、普賢菩薩、勢至菩薩、地蔵菩薩ほか
- ・明王・護法部：不動明王、降三世明王、大威徳明王、毘沙門天、諸天部ほか
- ・羅漢・祖師・高僧像：羅漢像、達磨像、禅僧像、弘法大師像ほか
- ・制作地域・時代：中国を中心とする東アジアおよび日本、古代から近世まで

各作品については、尊名、推定年代、推定制作地域、材質、技法、法量、保存状態、修復歴、比較作例、参考文献および輸送・展示上の留意事項を記載した「作品資料カード」を提出いたします。

4. 壬生寺の信仰と呼応する展示構成案

壬生寺様に受け継がれてきた信仰の歴史に敬意を払い、御本尊・延命地蔵菩薩と、境内塔頭・中院に安置される歯薬師如来を本展の二つの中核テーマとします。その上で、出展作品が持つ魅力と文化的意義を、寺院の祈りとのつながりが感じられる構成で分かりやすく紹介いたします。

展示の中核① 延命地蔵菩薩への信仰

壬生寺様の御本尊は、平安時代の延命地蔵菩薩立像（重要文化財）であり、現存する地蔵菩薩像の中でも日本最古の部類とされています。本展では、当館所蔵の各時代・地域の地蔵菩薩像を選定し、救済・延命・厄除・開運を願う地蔵信仰が、東アジアにおいてどのような造形として表されてきたかを紹介します。

展示の中核② 中院の歯薬師如来への信仰

境内塔頭・中院は壬生寺に唯一残る塔頭で、洛陽三十三所観音霊場第二十八番札所本尊の十一面観音菩薩と、京都十二薬師霊場第四番札所本尊の歯薬師如来を安置しています。本展では、薬師如来像と日光・月光菩薩などの関連作例を通じ、病苦を除き、身心の安穩を願う薬師信仰の広がりや造形を紹介します。

章立ては会場規模、作品状態、参拝動線および壬生寺様のご意向に応じて柔軟に調整いたします。

5. 当館について

当館は、東洋仏教古美術の保護、調査研究および文化的価値の継承を目的として設立され、開館以来39年にわたり、仏教美術資料の保存、調査、研究および公開に取り組んでまいりました。これまで各界を代表する著名人を含む千名を超える方々よりご支援とご協力を賜っております。

- ・名誉館長 伏見博明殿下（元皇族）
- ・館長 田中 京（文筆家・音楽評論家／田中角栄元内閣総理大臣の長男）

歴代館長・顧問等としてご支援を賜った主な関係者（五十音順・敬称略）

- ・青島幸男（作家・元東京都知事）
- ・小澤征爾（指揮者）
- ・鹿島昭一（鹿島建設元社長・元会長）
- ・窪 徳忠（東京大学名誉教授・元東京大学東洋文化研究所所長）
- ・佐々木 正（実業家・工学博士）
- ・三國連太郎（俳優）／水上 勉（作家）／南 博（一橋大学名誉教授）／横尾忠則（美術家）

6. 開催概要（案）

- ・ 会場：壬生寺境内または壬生寺様が指定する施設
- ・ 開催時期：春節を含む冬季から早春を一つの候補とし、年間行事・法要・参拝状況を最優先して協議
- ・ 開催期間：会場条件および寺院運営に応じて協議
- ・ 主催・共催・協力等：壬生寺様との協議により決定
- ・ 対象：一般参拝者、仏教美術関係者、研究者、国内外の文化関心層

7. 当館が負担する事項

本展の企画、準備および運営に必要となる費用は、原則として当館が負担し、壬生寺様に予期しない財政的・行政的負担をおかけしないことを基本方針といたします。

- ・ 作品調査、資料作成および図録編集費
- ・ 作品輸送、搬入・搬出および美術品保険料
- ・ 展示ケース、展示台、照明、案内表示および会場設営費
- ・ 警備、防災、防犯、温湿度管理および安全対策費
- ・ 広報、印刷、翻訳、記録撮影および必要な専門家への謝金
- ・ 会場の原状回復その他、実施に必要な費用

8. 作品の安全管理

文化財および美術品の取扱実績を有する専門事業者と連携し、輸送から搬出まで一貫した安全管理を行います。

- ・ 作品状態の事前確認およびコンディションレポート作成
- ・ 耐震性を備えた展示台・展示ケースの使用
- ・ 温湿度、照明、紫外線、熱、防火および防犯の管理
- ・ 参拝者と作品との適切な距離および安全な動線の確保
- ・ 全作品への保険付保および緊急時対応計画の策定
- ・ 寺院行事、法要、参拝環境を妨げない搬入・搬出計画

9. 壬生寺様にお願いしたい事項

本企画の実現に向け、下記についてご指導とご協議をお願い申し上げます。

- ・開催の可否および開催場所・時期に関するご判断
- ・出展作品および展示内容に対する宗教的・文化的観点からのご助言
- ・会場条件、参拝動線、安全管理および寺院行事との調整
- ・壬生寺様の名称、写真、寺紋等の使用許可
- ・広報物、図録、報道発表資料等の事前確認
- ・必要に応じた研究者、学芸員または文化財専門家のご推薦

正式なご承認を得ない限り、「壬生寺様監修」「壬生寺様公認」等の表現は使用いたしません。

10. 今後の進め方

- ・第一段階：企画内容の確認
- ・第二段階：開催条件の協議
- ・第三段階：展示内容の決定と開催準備

なお、本展の実施にあたっては、当館と長年にわたり協力関係にある平山 東子氏、井上 隆史氏、栗田 功氏に、顧問へのご就任をお願いする予定です。

11. 結び

当館は、壬生寺様の歴史や文化的価値を借りて所蔵品を顕彰することを目的としているのではなく、壬生寺様のご指導のもと、東アジア仏教美術の保護と継承に資する、品格ある文化事業を実現したいと考えております。

まずは代表的な出展候補作品の資料をご高覧いただき、企画の方向性、開催の可否および今後の協議方法について、ご指導とご助言を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

敬具

観音菩薩坐像

※ 材質・時代 ※

木造・彩色
像高90cm
宋代

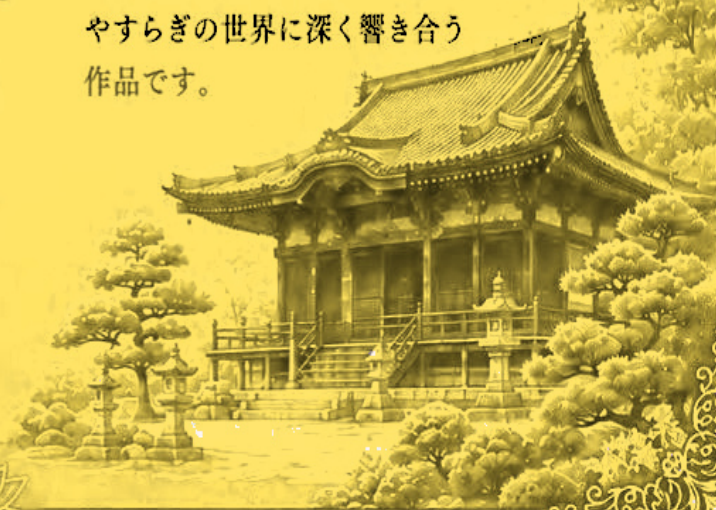
※ 本像の特徴 ※

片脚を上げ、ゆったりと
坐す観音菩薩像です。
穏やかな表情と自然な姿には、
慈悲と安らぎが表されています。

※ 壬生寺との関係 ※

壬生寺は、古くから多くの
人々の祈りを受けとめてきた
寺院です。

本像のやさしく穏やかな姿は、
人々を救おうとする慈悲の心を伝え、
壬生寺が大切に祈りと
やすらぎの世界に深く響き合う
作品です。



観音菩薩坐像

材質・時代

木造・彩色

像高120cm

宋代

本像の特徴

片手に器を持ち、
ゆったりと坐す観音菩薩像です。
穏やかな表情と落ち着いた姿には、
慈悲と安らぎが表されています。

壬生寺との関係

壬生寺は、古くから多くの人々の
信仰を集めてきた寺院です。
本像のやさしく穏やかな姿は、
人々に寄り添う壬生寺の信仰文化と
よく響き合う作品です。



如来立像

材質・時代

木造
像高190cm
宋代

本像の特徴

右手を掲げ、左手を差し出して
静かに立つ如来像です。
穏やかな表情と堂々とした姿には、
深い慈悲と安らぎが表されています。

壬生寺との関係

壬生寺は、古くから人々の祈りを
受けとめてきた寺院です。
本像の静かで穏やかな姿は、
壬生寺が大切に祈りと
やすらぎの心を感じさせ、
寺院の信仰文化とも自然に
響き合う作品です。



観音菩薩坐像

材質・時代

木造・彩色
像高130cm
宋代

本像の特徴

片脚を上げ、ゆったりと
坐す観音菩薩像です。
宝冠に化仏を戴き、
穏やかな表情と自然な姿に、
慈悲と安らぎが表されています。

壬生寺との関係

壬生寺は、古くから人々の祈りを受け止め、
信仰と文化を今に伝えてきた寺院です。
本像のやさしく静かな姿は、
壬生寺に息づく慈悲の心と
安らぎの祈りに深く通じる作品です。



文殊菩薩像

材質・時代

木造・彩色
像高160cm
宋代

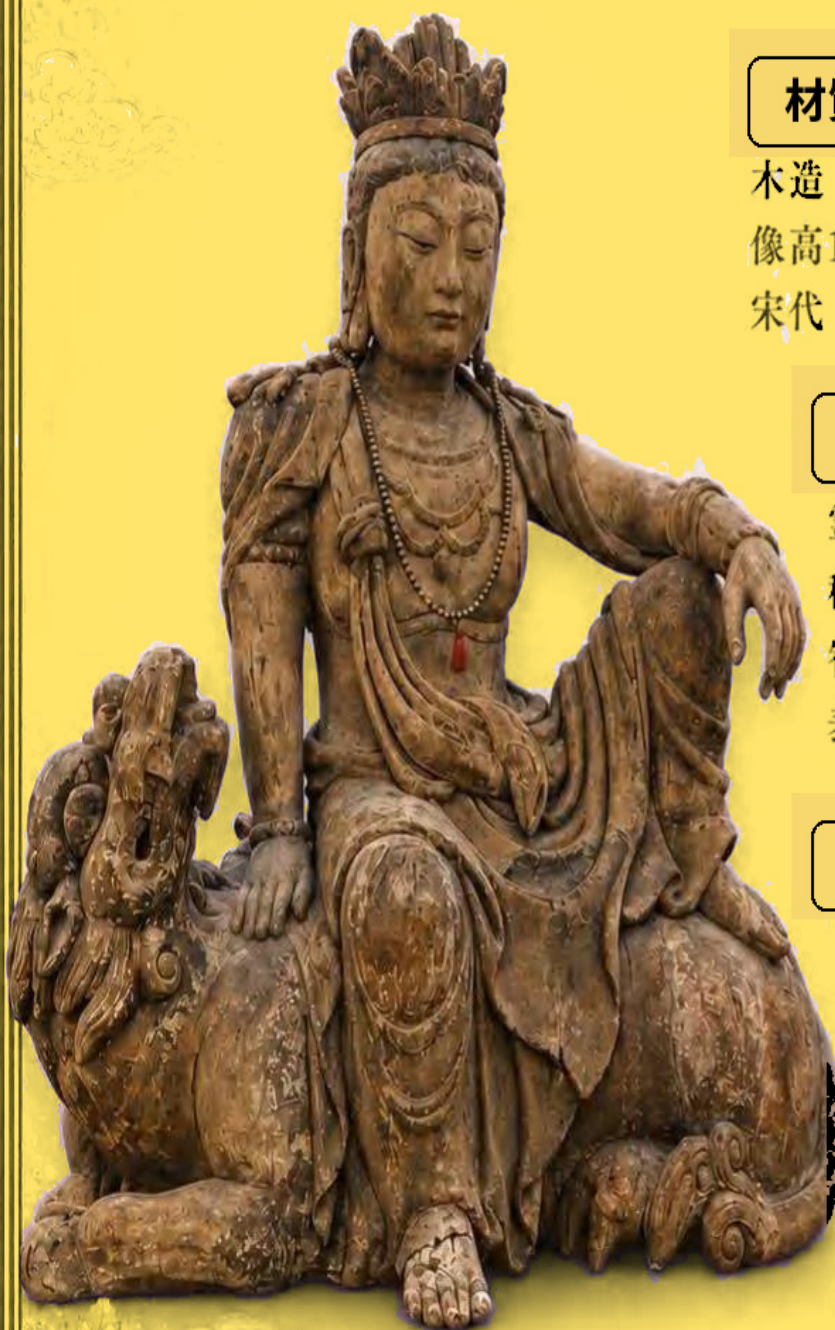
本像の特徴

霊獣に寄り添うように坐す文殊菩薩像です。
穏やかな表情と落ち着いた姿には、
智慧と慈悲、そして安らぎが
表されています。

壬生寺との関係

壬生寺は、古くから多くの人々の
信仰を集め、教えを広く伝えてきた
寺院です。

本像が表す智慧と慈悲の心は、
壬生寺が大切に祈りと学びの
精神に通じ、寺の信仰文化と
響き合う作品です。



唐代・銅鍍金彩色 如来坐像



材質・時代

銅造・鍍金・彩色

像高 98cm

唐代（618年～907年）



本像の特徴

穏やかな表情で結跏趺坐し、
両手に小さな器を持つ如来坐像です。
静かで安定した姿には、
人々の平安を願い、慈悲によって
導く仏の徳が表されています。



壬生寺との関係

壬生寺は、平安時代より人々の祈りと
供養を受け継いできた古刹です。
本像の穏やかで慈悲深い姿は、
壬生寺が大切にしてきた
人々の平安と救いの祈りと調和し、
仏教美術の深い精神性を伝える作品です。



展示の意義

壬生寺において本像を展示することは、
唐代の古仏像を通して、壬生寺が
守り伝えてきた祈りの心と歴史を紹介し、
訪れる方々に仏の慈悲と平安を
感じていただく機会となります。



観音菩薩立像

材質・時代

木造・彩色
像高75cm
宋代

本像の特徴

胸前に器を捧げ、静かに立つ
観音菩薩像です。
穏やかな表情と端正な姿には、
慈悲と安らぎが表されています。

壬生寺との関係

壬生寺は、古くから人々の祈りを受けとめ、
信仰の場として親しまれてきました。
本像の穏やかで慈悲深い姿は、
参拝者の心に安らぎをもたらし、
壬生寺の静かな祈りの空間に
ふさわしい作品です。



観音菩薩坐像

材質・時代

木造・彩色

像高 90cm

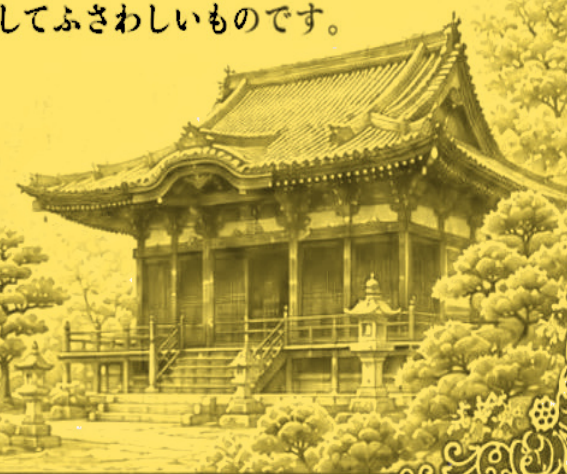
宋代

本像の特徴

ゆったりと坐す観音菩薩像です。
穏やかな表情と自然な姿には、
慈悲と安らぎが表されています。

壬生寺との関係

壬生寺は、古くから人々の祈りを受けとめ、
信仰を今に伝えてきた寺院です。
本像の静かでやさしい姿は、
壬生寺が大切に祈りと心の安らぎを伝える
作品としてふさわしいものです。



観音菩薩立像

材質・時代

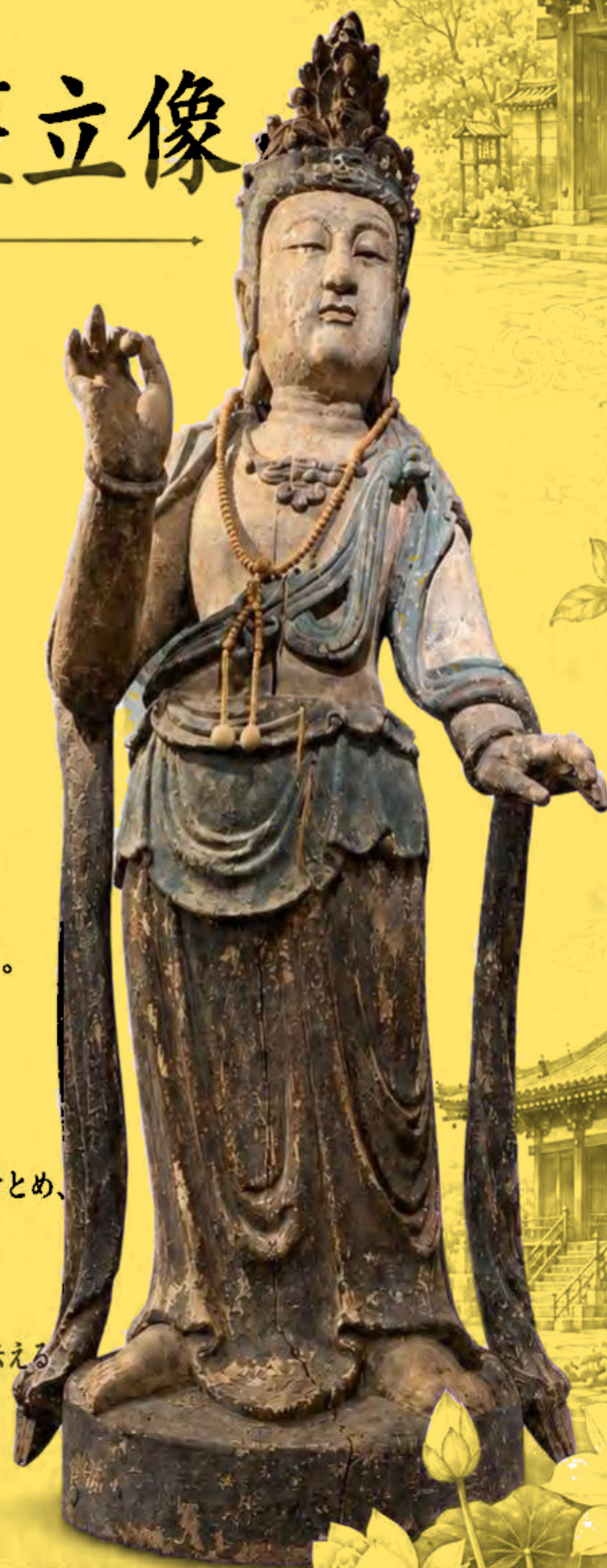
木造・彩色
像高100cm
宋代

本像の特徴

右手を掲げ、左手を差し出して
静かに立つ観音菩薩像です。
穏やかな表情と自然な姿には、
慈悲と安らぎが表されています。

壬生寺との関係

壬生寺は、古くから人々の祈りを受けとめ、
信仰を今に伝えてきた寺院です。
本像の静かでやさしい姿は、
壬生寺が大切に祈りと心の安らぎを伝える
作品としてふさわしいものです。



観音菩薩坐像

材質・時代

木造・杉木

像高80cm

宋代

本像の特徴

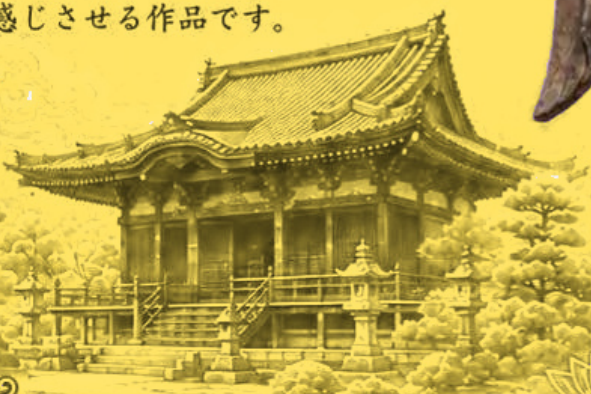
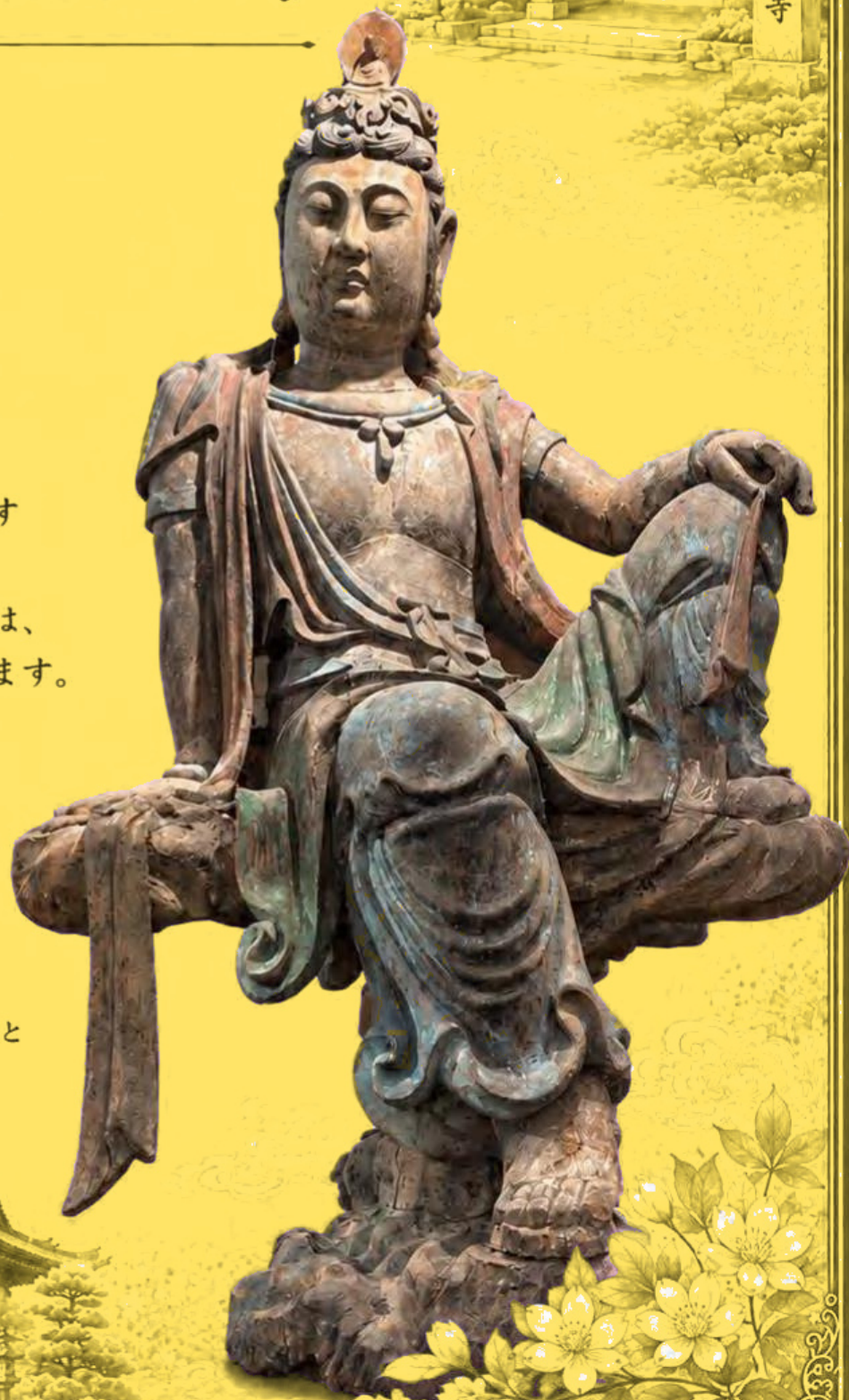
片脚を上げ、ゆったりと坐す
観音菩薩像です。

穏やかな表情と自然な姿には、
慈悲と安らぎが表されています。

壬生寺との関係

壬生寺は、古くから人々の祈りを
受けとめてきた寺院として
親しまれています。

本像の静かで慈悲深い姿は、
人々に寄り添うやさしい祈りの心と
響き合い、壬生寺の信仰文化を
感じさせる作品です。



如来坐像

材質・時代

木造・彩色
像高90cm
宋代

本像の特徴

両手を腹前で組み、静かに
坐す如来像です。
落ち着いた表情と安定した姿には、
深い慈悲と心の安らぎが
表されています。

壬生寺との関係

壬生寺は、古くから人々の祈りを受けとめ、
信仰を今に伝えてきた寺院です。
本像の静かで穏やかな姿は、
仏の慈悲とやすらぎを伝え、
壬生寺の祈りの場に
ふさわしく響き合う作品です。



菩薩立像



材質・時代

木造
像高110cm
宋代



本像の特徴

静かに立つ菩薩像です。
穏やかな表情と落ち着いた姿には、
人々をやさしく見守り、
安らぎへ導く願いが表されています。

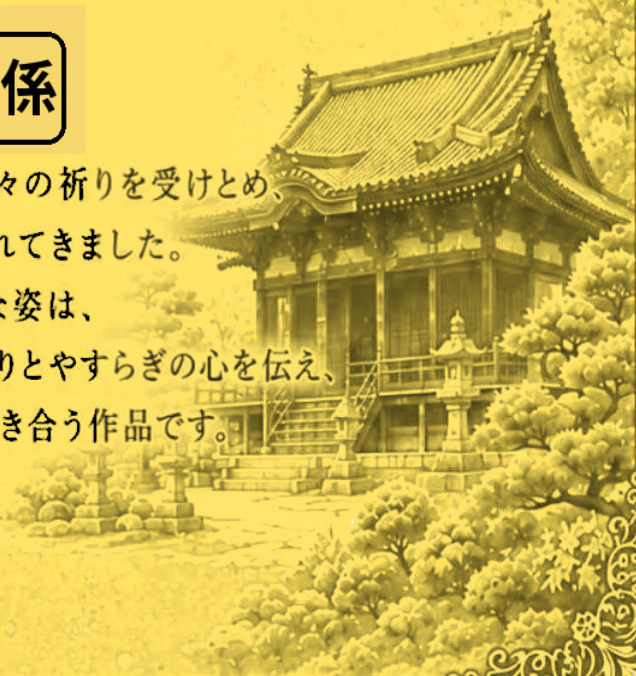


壬生寺との関係

壬生寺は、古くから人々の祈りを受けとめ、
信仰の場として親しまれてきました。
本像の静かで穏やかな姿は、
壬生寺が大切にする祈りとやすらぎの心を伝え、
寺の信仰文化と深く響き合う作品です。



壬生寺



観音菩薩坐像

材質・時代

木造・彩色
像高100cm
宋代

本像の特徴

片脚を上げ、ゆったりと坐す
観音菩薩像です。
穏やかな表情と自然な姿には、
慈悲と安らぎが表されています。

壬生寺との関係

壬生寺は、人々の祈りを受けとめ、
やすらぎを伝えてきた寺院です。
本像の静かで慈悲深い姿は、
壬生寺が大切にする祈りの心と
人々を見守る願いに通じ、
寺の信仰文化と響き合う作品です。



観音菩薩立像



材質・時代

木造・彩色
像高160cm
宋代



本像の特徴

両手を前に差し出して静かに立つ
観音菩薩像です。
穏やかな表情と自然な姿には、
人々を慈悲の心で包み、
安らぎへ導く願いが表されています。



壬生寺との関係

壬生寺は、古くから多くの人々の祈りを
受けとめ、信仰と供養の場として
親しまれてきました。
本像のやさしく穏やかな姿は、
仏の慈悲と心の安らぎを伝え、
壬生寺の祈りの空間にも
よく調和する作品です。





観音菩薩坐像



材質・時代

木造・彩色
像高90cm
宋代

本像の特徴

片脚を上げ、ゆったりと
坐す観音菩薩像です。
穏やかな表情と自然な姿には、
慈悲と安らぎが
表されています。

壬生寺との関係

壬生寺は、長い歴史の中で人々の祈りを受けとめ、
慈悲の心を今に伝えてきた寺院です。
本像の静かでやさしい姿は、
壬生寺が大切にする祈りと
やすらぎの心に通じ、
来訪者に深い安らぎを
伝える作品です。



企画提案者案内

東京古禅美術館

(銀座) 万佛宇宙国際芸術館

壬生寺特別展 提案・運営協力窓口

延命地藏信仰・壬生大念佛狂言・京都の祈り文化を尊重した企画提案



〒104-0061 東京都中央区銀座2丁目11-8 ラウンドクロス2F

E-mail: tokyokozen@gmail.com

TEL: 03-6278-7718 / 携帯: 080-3345-5993

東洋仏教美術の粹を、次代へ

ご案内

仏教美術・東洋古美術を中心に、
貴重な文化財を常設展示しております。
特別展・企画展も随時開催。
壬生寺特別展の提案・運営協力に関する
ご相談を承ります。

